

社会（小学校）

○ 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり

小学校社会科では、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

【『小学校学習指導要領解説（社会編）「改訂の趣旨」』を踏まえた課題】

- ・ 問題解決的な学習過程の充実：課題把握→課題追究→課題解決→新たな課題
- ・ 内容の充実を図る観点：現代的な諸課題を踏まえる観点、持続可能な社会づくりの観点

「個を活かす協働的な学び」の実現 「個に応じたきめ細かな指導」の充実

「授業づくりの三訓」を生かして（例）

しかけて待って	語らせつないで	認め励ます
<p>■資料等の提示後に疑問を整理して学習問題をつくる</p> <p>◇手立ての例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二つの地域の資料を提示して、異同を考えさせる。 ・ 今と昔の資料を提示して、変化の理由を予想させる。 ・ 資料の部分を提示して、全体像を想像させる。 ・ 年表でその時代を概観させ、イメージをもたせる。 ・ 分布図を提示して、ちらばりを言葉で表現させる。 	<p>■予想とその根拠を語らせ、資料や友だちの考えとつなぐ</p> <p>◇手立ての例</p> <p>子どもの発表に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「Aさんと同じ考えの人はいるかな」と全体に広げる。 ・ 「今の発表は、この二つの資料から考えたようだけど、だれかもう一度説明できるかな」と促す。 ・ 「Bさんの予想は、どの資料と関係が深いかわかるかな」と全体に問い返す。 	<p>■協働的な学び、見方・考え方のよさを認め励ます</p> <p>◇手立ての例</p> <p>協働的な学びのよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「資料を使った今のAさんの説明はよく分かったね」 ・ 「今日の勉強で一番納得したのは誰の意見？」 <p>見方・考え方のよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「Bさんみたいに他地域と比べると違いが分かるね」 ・ 「Cさんは、今日の勉強を市民の生活とつないだね」

社会科は、事実に基づいて考えることが基本となります。学びの過程に考える基となる資料を提示し、根拠を示しながら語る子どもを育てましょう。高学年になると複数の資料から総合的に考えをつくることも大切です。



ICTの活用について

＜社会的事象等について調べまとめる技能について＞

「社会的事象等について調べまとめる技能」は小学校、中学校、高等学校の学習指導要領解説に共通して掲載されています。この技能を生徒に身に付けさせるため、ICT機器を活用した学習活動のより一層の充実が求められます。

【ICTの活用例】

[見学先で、情報を収集する場面]

見学先の様子やインタビューを写真や動画で記録することで、早く情報収集できる。

[収集した情報を基に、話し合う場面]

記録したものを再生し内容を確認する際に、拡大して見たり、共有したりしやすい。

[考えをまとめ、共有する場面]

問いに対する個々の考えを書き、共有ツールで共有することで、短時間で交流ができ、考えの共通点・相違点を見つけることができる。

[共有した考えを基に、関連付けたり整理したりする場面]

複数の端末で同じ思考ツールを共有し、グループの考えを集約等することで、操作しながら話し合いや考えの整理をすることができる。